

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年2月10日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年2月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【雑固体廃棄物焼却設備制御室用パソコンNo.003の起動不良について】 雑固体廃棄物焼却設備制御室用パソコンNo.003の起動操作時において、Windows画面にハードディスクの問題を示すエラーメッセージが発生し、パソコンを起動出来ないことを確認。 2度再起動するも同様のメッセージが表示され、起動せず。 ハードディスクの不良が考えられるため、パソコンを交換予定。	G III	2月4日
2	【雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉(A)温度計保護管の損傷について】 2019年12月13日に審議された「雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉(B)入口温度計指示不良について」の水平展開として、A系の焼却炉入口温度計と二次燃焼器入口温度計を取外したところ、B系と同様に保護管が損傷していることを確認。 今後、雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉(A)温度計保護管を交換予定。原因については調査中。	G III	2月4日
3	【非常用電気品(B)区域送風機(B)の出口グラビティダンパ動作不良について】 非常用電気品(B)区域送風機(B)を停止した際、出口グラビティダンパ※の3箇所が「全閉」しないことを確認。 出口グラビティダンパを点検・補修予定。 なお、非常用電気品(B)区域送風機(A)が運転しているため、運転への影響はなし。 ※出口グラビティダンパ: 逆向きの風が流れないよう逆流防止を目的としたダンパ。	G III	2月4日
4	【3号機クレーン装置捕巻きの動作不良について】 燃料取出作業に向けた準備作業として、使用済燃料プール内にあるキャスク(輸送容器)の一次蓋を外し、収納架台に入れようとしたところ、クレーン装置の捕巻が一次蓋を吊った状態のまま空中で停止した。 調査の結果、モータ内部のブレーキコイルが端子台で接触不良となっていることを確認。 当該端子部について修理を行い、運転確認において、正常に動作することを確認。	G III	2月6日